

第194回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成28年1月)

2016.1.21

株式会社 岩手朝日テレビ

第194回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成28年1月21日（木）午後4時～
2. 開催場所 メトロポリタン盛岡ニューウィング3F 桂の間
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 3名

委員長	村田久
委員	そのだつくし
委員	畠山さゆり

欠席委員数 4名

委員	佐藤克也
	小原俊英
	小松豊
	田口信之

会社側出席者名

代表取締役社長	富永健治
常務取締役	長生正広
報道制作局長	佐々木貴
報道制作局担当部長	田村道代
報道制作局ディレクター	渡邊孝志
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	三浦茂樹
番組審議会事務局	佐野尚

4. 議 題

- (1) 合評番組：「ふるさとCM大賞 in IWATE 2015」
放送日時：平成27年12月26日(土)午後4時～5時25分
- (2) 2月単発番組及び1月の視聴率について
- (3) 次回審議会
開 催 日：平成28年2月25日(木) 午前11時～
合評課題：「スーパーJチャンネルいわて」
放送日時：平成28年2月11日(木)午後6時15分～55分
- (4) その他

5. 概 要

- ・住民らが市町村をPRした15秒CMを制作して出来栄を競う番組。今回は県内33市町村中29市町村の参加があった。
- ・委員からは「番組全体的にテンポが良く、最後まで飽きずに見ることが出来た」「CM制作シーンから地域全体で取り組む姿勢が見られ微笑ましかった」という評価があった。
- ・また「制作者の年齢や立場などによってCMの内容にばらつきがあった。テーマを絞ることで統一感を持たせた方が良いのではないか」という意見があった。
- ・民放連放送基準が一部改正されるのに伴い、IAT番組基準第149条の改正について諮問され、妥当であるとの答申があった。

6. 議事の内容

三浦事務局長) 定刻となりました。本日もお忙しい中お集まり頂きありがとうございます。只今より、第194回 岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。本日は合評課題番組におきまして、報道制作局 佐々木局長、田村担当部長、渡邊ディレクターが出席しております。後ほど合評の際は宜しく願います。それでは村田委員長、議事をお願いいたします。

村田委員長) おはようございます。富永社長、宜しくお願いします。

富永社長) 本年最初ということで、委員の皆様宜しくお願いいたします。ご存知の通り弊社は今年開局20周年ということで、いろいろな企画を練っているところです。今まではゴエティーフェスタをやっていましたが、今年は5月の最終週にアピオで、その何倍もの規模のイベントを企画しています。また10月末に6時間規模の長時間の番組放送に挑戦していきたいと考えています。そのほかにも周年の特番だとかいろいろなものを企画しています。前回の15周年の時はちょうど震災の年でした。隣のめんこいテレビも20周年でしたが、全ての企画を中止しました。その時は我々だけが周年企画を実施しましたが、今回はめんこいテレビが25周年、弊社が20周年でぶつかることとなります。一つ一つの企画を一生懸命やって大成功を目指したいと思います。

村田委員長) ありがとうございます。何もなければ単発と視聴率について事務局から願います。

三浦事務局長) では、2月の単発番組と1月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。まず、2月の単発番組です。9番組を予定しております。5日(金)午前1時25分から「朝まで生テレビ」をお送りします。7日(日)午後1時55分から北海道テレビ制作「ハナタレックスEXチームナックスがゆく北海道ドライブツアー ～札幌&十勝でおもしろ看板探しの旅」をお送りします。水曜どうでしょうでおなじみの大泉洋、安田顕ら5人のチームナックスが、おもしろい看板を探して札幌、十勝を旅していく内容です。その土地のグルメや5人のやり取りがみどころです。20日(土)午後4時から「東北ふるさとCMフェスティバル2016」をお送りします。「東北ふるさとCMフェスティバル」は、東北各県のふるさとCM大賞最優秀作品を一般公開するイベントで、今回で9回目の開催となります。「ふるさとCM大賞」は、本日の合評

課題番組になっておりますが、岩手からは陸前高田市の「未来への手紙」が参加します。東北の魅力を再発見できる「東北ふるさとCM フェスティバル」是非ご覧下さい。21日(日)午後1時55分から名古屋テレビ制作「芸能界 じいじ&ばあばウォッチングバラエティ 孫まご旅」をお送りします。芸能人がそれぞれのお孫さんと珍道中していく内容です。孫たちに振り回されて、普段テレビでは見られない素顔や様子を、スタジオゲストたちが観察するウォッチングバラエティです。26日(金)午前1時25分から「朝まで生テレビ」をお送りします。そして27日(土)は、岩手朝日テレビ制作の番組を2本お送りします。まず午後1時から、「待ちきれない いわて国体 気になる競技をチェック」(仮)をお送りします。10月に開催される「いわて国体」を盛り上げるべく、注目競技やその見どころ、強化選手の意気込みを紹介します。出演は、筋肉芸人なかやまきんに君と石田靖が紹介していきます。続いて午後1時55分からはテレメンタリー2016「誰がため街はある～釜石仮説飲食店街」お送りします。震災で津波の被害を受けた釜石市ですが、市が再び同じ地区を町を中心として整備し、飲食店街を再建しようとしていることに、津波の恐怖を体験した仮設飲食店街の店主たちが反対しています。店主たちを取材し、震災から5年たつ被災地の課題を検証する番組です。そして、29日(月)午後2時から テレビ朝日系列 東北ブロック各局が制作した番組「ほっとネットとうほく」を2本放送します。青森朝日放送と秋田朝日放送制作です。

次に、1月の視聴率についてです。ご覧のように全日 8.1%、ゴールデン 13.2%、プライム 12.9%、プライム2 6.8%となり、視聴率順位としては全日3位・ゴールデン3位・プライム2位・プライム22位となりましたが、NHKを除いた民放局では全てのセクションで2位でした。ゴールデン帯では15%以上の高視聴率が7番組あり好スタートを切りました。1週目 7日(木)の「甦る歌謡曲」が15.4%、8日(金)の「列島警察 冬の事件簿」が16.8%、2週目は11日(月)の「しくじり先生 3時間スペシャル」が15.7%、12日(火)の「家庭の医学3時間スペシャル」が16.2%、13日(水)の「相棒」が15.5%、「報道ステーション」が17.5%、14日(木)の「科捜研の女」が11.6%、15日(金)の「ミュージックステーション2時間スペシャル」が16.8%でした。そしてこの週スタートした木曜ドラマ「スペシャリスト」が14.4%と好スタートを切りました。またこの週は、サッカーリオ五輪アジア地区最終予選U-23がありました。13日(水)の「日本×北朝鮮」が10.5%、16日(土)「日本×タイ」が11.1%

と2桁は超えましたが、もう少し欲しかったというのが正直なところでは。18:15から放送の「スーパーJチャンネルいわて」ですが、12月に引き続き平均視聴率9.6%と高い視聴率を維持しております。1月の視聴率については以上でございます。

村田委員長) 単発と視聴率についてご意見ありますか？ なければ合評課題に移らせていただきます。今日は佐藤さんからお願いします。

佐藤委員) 29市町村の参加ということで初めは放送時間内にうまくまとめられるのかと感じたが、番組全体にキレがあって見やすかった。時間に余裕があると余計なものも入れ込んでしまいがちだが、今回はテンポも良く飽きずに見ることが出来た。あわせてCMの制作風景を流したのは、番組にアクセントができた。場面展開でのBGMやテロップの活用が的確だった。最後の表彰式だが、審査員4名が表彰を行うのは分かるが、それ以外の主催団体の方々が表彰を行う場面があった。審査員の方のみで行った方が視聴者も分かりやすいし良かったのでは？ 少々違和感を覚えた。それとCM制作者の方々が学生だったり自治体の担当者だったりNPOの方だったりバラバラ。そのせいかCMの趣旨やレベルにもばらつきが感じられた。誰でも参加できるという従来の形でも良いが、制作者を学生に絞ったりテーマを決めるなどして、統一感を持たせながら競わせても面白いかも。全市町村ではないがゆるキャラの登場が多々あった。ゆるキャラをもっと絡めても良いか。司会のマギー審司さんは切り替えしがうまく、赤いジャケットもきまっていた。問題はもう一人の畑山アナウンサーの衣装が中途半端に感じた。番組全体としては表彰式以外はテンポも良く画面も明るく見やすかったと思う。

そのだ委員) 今回も審査員として参加した。半日がかりの表彰式、CMが放送されて舞台上に制作者の方々が登場しコメントをする時間を考えると、以前の司会者だった山本監督の時と比べてかなり収録時間は短縮されたなど。審査員の私のコメントもうまく編集されていてありがたかった。毎年工夫して15秒CMにまとめている。とても感心させられる。長く担当していると情熱をこめてやっているところと、そうでないところとが分かるようになる。番組の流れとしてはテンポが良く、制作風景の映像は私も見たことがなかったので新鮮に思えた。

畠山委員)

以前に比べ安定してきたせいか普通に見ることが出来た。毎年CM制作の切り口を変えてよく工夫しているなど感じた。自分でも楽しむために自分の好みの作品がどんな賞に絡んでいくのか見ていた。今回のグランプリは紫波町のお年寄りの方がとるのかと期待した。あわせて金賞は宮古市、銀賞は普代村と八幡平市かと予想したが、大きく外れてしまい残念だった。グランプリをとった陸前高田市はどちらかと言えば無難。番組全体としては面白く、来年はもっと進化するものと期待する。

村田委員長)

CM作品の出来具合は別として15秒の時間内で完成させるのはかなり至難の業。それだけアイデアを凝らして真剣に取り組んでいる姿には好感が持てた。CMの映像だけだと単調になってしまうが、面白かったのはCMの制作風景。これが放送されると裏方の苦労やエピソードが理解でき、番組に厚みが出て面白い。視聴者も同じ思いではないか。尺をもっと多くとっても良い。逆にエピソードだけでも番組ができるのではないか、30分くらいで。意外と今回は子供とお年寄りの登場が多かった。CMの内容を盛り上げ微笑ましくもあるが、他の委員の方からも意見が出たようにCMの内容にばらつきが生まれる。かと言って初めから制作者や登場人物を絞り込んで応募すると、参加者が少なくなる可能性がある。このままの制作スタンスで良いという気持ちもあるが、可能なら何か一つ条件を付けて制作することでCM全体に統一感を出せるかも。どちらにしる難しい。

気になったのはMCのマギー審司さんと畑山アナウンサーの進行ぶり。畑山アナが遠慮している感じが目立つ。衣装も地味な感じだったし。それではまずいので、もっと前が出る感じでやってほしかった。岩手朝日テレビを代表している気持ちで。全体としては興味のある番組だし楽しみにしている。今回は参加市町村が29だったが、減らさぬよう頑張ってもらいたい。

田村担当部長)

以前は女性MCの衣装は派手なものだった時もあったが、一昨年あたりから控えめなものにしています。マギーさんが赤いジャケットなので、それとかぶらないようにしています。畑山が大人しめに見えてしまったのは、それもあるかもしれませんが。参加市町村に対しても電話取材を通じてネタのストックはあったと思います。ただ進行の流れの中で、そのネタを出すタイミングが無かったのかもしれない。

佐々木局長) そのだ委員はお分かりかと思いますが、収録時間は相当長いです。制作・進行側としては時間を区切って進めていかないと出演者や審査員の方々を相当待たせることになります。よってシステムチックに効率よく進めないといけない部分もあります。ネタを持ちながらも畑山が多くを伝えられなかったのはそういう理由もあるかと思えます。

渡邊ディレクター) 畑山は局アナなので全体の進行を、マギーさんは盛り上げを自由にやってもらいました。収録の時は畑山も多くのコメントをしていましたが、盛り上がっているシーンを多くいれるという編集の都合でカットした部分もあります。よって畑山のコメントが少なくなってしまったのかもしれませんが。

村田委員長) ありがとうございます。何かご意見ございますか。何もなければ次回の開催についてお願いします。

三浦事務局長) それでは、次回についてお知らせいたします。次回の番組審議会は2月25日(木)午前11時から弊社3階会議室での開催となります。合評課題は、2月11日(木)午後6時15分から放送します「スーパーJチャンネルいわて」を合評課題とさせていただきます。是非、貴重なご意見を宜しくお願い申し上げます。

その他について1点ございます。「民間放送連盟放送基準」の改正についてです。民放連は「放送基準」を平成27年11月9日付で改正し、今年3月1日施行します。今回改正する条文は、第149条です。改正点については、これからご説明させていただきますが、岩手朝日テレビは民放連の放送基準を準用しており、改正後の条文を引き続き準用する場合は、3月1日の施行までに、自社の番組基準の変更を番組審議会に諮問し、答申を得なければならないという放送法の規定があります。そこで、本日の番組審議会にて諮問・答申させていただきますので、宜しく願いいたします。

それでは、今回民放連放送基準の改正内容についてご説明させていただきます。資料⑧をご覧ください。「広告の時間基準」に関して、148条と149条の2つの条文があります。148条 週間のコマーシャルの総量は、総放送時間の18%以内とする149条 プライムタイムにおけるCM(SBを除く)の時間量は、下記の限度を超えないものとする。その他の時間帯においては、この時間量を標準とする。ただし、スポーツ番組および特別行事番組については各放送局の定めるところによる。今回は、この149条の改正となります。⑩をご覧ください。

ださい。現行の「プライムタイムにおけるCM（SBを除く）の時間量は、下記の限度を超えないものとする」という条文を、「プライムタイムにおけるコマーシャルの時間量は、以下を標準とする（SBを除く）」に改正なります。また、「その他の時間においては、この時間量を標準とする」を削除します。その結果、149条は、「プライムタイムにおけるコマーシャルの時間量は、以下を標準とする（SBを除く）。ただし、スポーツ番組および特別行事番組については各放送局の定めるところによる」という条文になります。現行の条文は、番組とCMをバランスよく配置することによって、視聴者の利益に適う放送を実現するため昭和50年に整備した規定であります。⑩にありますように、この規定は、番組の長さに基づきCM時間量を定めています。たとえば、60分以内の番組のCM量はSBを除いて6分を超えない50分以内の番組のCM量はSBを除いて5分を超えないという規定です。しかし⑪にありますように、例えば同じ2時間の枠であっても、番組編成によっては「民放連放送基準」上、挿入可能なCM時間量が変化します。SB枠がない編成も増えてきており、番組編成に応じてその都度CM時間量を調整する必要が生じます。上の表で、54分番組のCM量は、「60分以内の番組なのでCM量は6分を超えない」となっていますので最大6分、そしてSBの1分があります。しかし真ん中の表では、56分の番組であるのでここも最大6分のCM量であります。SBがない編成のため、SBの1分ぶんは現行の基準では入れられなくなります。このように、番組の編成手法やコマーシャルの挿入方法が多様化し、番組の長さに基づきCM時間量を定めるという一律的な基準では、運用が難しいケースも出てくるようになりました。このような状況に対処するとともに、番組編成の機動性を一層高めることを目的として、149条を改正することになりました。しかしこの改正は、あくまでも各社の創意工夫の余地を広げるために行うもので、現状のコマーシャルの時間量を増やすことが目的ではありません。148条にありますように、週間のコマーシャルの総量を18%と定めた規定は今後も維持していきます。以上が改正点と経緯でございます。本件に関しまして、委員の皆様 ご意見ございますでしょうか？ なければ、この度の放送基準の変更について、妥当であるということですので宜しいでしょうか？ ありがとうございます。それでは、岩手朝日テレビも3月1日に本放送基準の改正を施行いたします。

村田委員長)

ありがとうございました。それではこれもちまして、番組審議会を終了します。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置
ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。
系列各局に議事録を送付。
本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。
インターネットホームページに掲載。
9. その他の参考事項
特になし
10. 配布資料
 - ◎ 2月単発番組編成予定表
 - ◎ 1月岩手地区視聴率

